

山形大学校友会理事会（第23回）議事録

平成30年2月16日（水）

15時00分～16時15分

山形大学法人本部棟第1会議室

（議題）

- 1 平成29年度校友会支援事業の進捗状況について
 - (1) 校友会支援事業の進捗状況について
 - (2) 収支決算見込みについて
- 2 平成30年度校友会支援事業について
 - (1) 予算概要（イメージ）について
 - (2) 校友会の基本方針に基づき平成30年度継続事業として優位性を認める支援事業等について
 - (3) 平成30年度校友会事業計画書の申請様式について
- 3 平成29年度大学院学生表彰者（校友会会長賞）決定について
- 4 その他
 - (1) 平成29年度校友会学生幹事の活動状況報告及び平成30年度学生幹事の推薦依頼について
 - (2) 山形大学校友会等の「英文名」について
 - (3) 「平成29年度（第13回）山形大学OB&OGセミナー」の開催について
 - (4) その他

（出席者）

会 長： 小山清人（議長）
副会長： 野村一芳、山川光徳
理 事： 佐藤圓治、長谷部利信、木村康二、山下英俊、松田友美、上村勘二、齋藤博行、大場好弘、是川晴彦、鶴浦 啓、佐藤 学、小笠原宣好、成田博昭
監 事： 内田勝男

（欠席者）

理 事： 坂上 満、安達 亨、小林 公、推名正美、菅原眞一、竹田隆一
監 事： 佐川 馨

（列席者）

長岡エンrollment・マネジメント部長、斉藤エンrollment・マネジメント部EM企画課長、大沼校友会事務局長、黒沼校友会事務局次長、富樫主任、田辺係員

議事に先立ち、小山会長から挨拶があり、本理事会への出欠状況について紹介があった。

1 平成29年度校友会事業の進捗状況について

- (1) 校友会支援事業の進捗状況について
- (2) 収支決算見込みについて

議長から本件について提案があり、事務局から、「平成29年度校友会事業の実施状況」、「平成29年度収支決算見込み」について資料1-1、資料1-2及び資料1-3に基づき概ね次のような説明があった。

(内容)

- (1) 本件は、去る 1 月 22 日（月）開催の校友会専門委員会（以下「専門委員会」という。）において資料に基づき説明し、了承されたものである。
- (2) 資料 1-1 は各事業の進捗状況を整理し一覧表にしたものであるが、現時点で、すでに終了した事業が 6 件、事業継続中のものが 21 件である。また、事業の実施状況及び進捗状況の詳細は資料 1-2 で確認できる。
- (3) 事業実施報告書（別紙様式 1）においては、すでに事業が終了した 6 件については達成度の自己評価（5 段階による）」も記入されている。
- (4) 平成 29 年度は継続 19 件及び新規 8 件の計 27 事業で、予備費を含め事業費予算総額は 19,900 千円であった。
- (5) 平成 29 年度の収支決算見込みは資料 1-3 のとおりであるが、収入の部では、ほぼ全員に近い新生が入会したが、一般の入会者は想定より下回ったため全体では 60 万円弱の減、支出の部の事業費は今後の支出見込みも踏まえ 18,700 千円程度の決算が見込まれる。
- (6) 最終的な平成 29 年度の事業報告及び収支決算は会計監査を経た上で、例年 6 月に開催される理事会において審議される。

種々審議の結果、議長から本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

2 平成 30 年度校友会支援事業について

- (1) 予算概要（イメージ）について
- (2) 校友会の基本方針に基づき平成 30 年度継続事業として優位性を認める支援事業等について
- (3) 平成 30 年度校友会事業計画書の申請様式について

議長から本件について提案があり、事務局から、「平成 30 年度予算概要（イメージ）」、「校友会支援事業の検討に当たっての基本方針」、「平成 30 年度校友会事業計画書の申請様式」について資料 2-1、資料 2-2 及び資料 2-3 に基づき概ね次のような説明があった。

(内容)

- (1) 本件は、去る 1 月 22 日（月）開催の専門委員会において資料に基づき説明し、了承されたものである。
- (2) 平成 29 年度決算見込みを踏まえ、平成 30 年度予算の概要は資料 2-1 のとおりと考えている。事業費は本年度の決算見込額をやや減じ 18,000 千円を確保した場合、平成 30 年度への繰越し額は 243 万円程度となる見込みである。
- (3) 校友会支援事業の検討に当たっては、平成 28 年 2 月理事会において資料 2-2 のとおり基本方針を策定しており、平成 30 年度支援事業についてもこの基本方針に沿って審議決定することになる。
- (4) 前回の専門委員会で審議の結果、資料 2-2 別紙 1 に掲げる 21 件は平成 30 年度継続事業としての優位性を認められ、採択金額は事業の実績等を精査して計上することとなった。
なお、その他資料 2-2 別紙 1 に掲げる平成 29 年度で継続事業の期間（最長 5 年）が終了したものが 5 件、平成 30 年度への継続事業を希望しなかったものが 1 件であることが確認された。
- (5) 「平成 30 年度校友会事業計画書」の申請様式は資料 2-3 のとおりとし、平成 30 年 3 月 30 日（金）を提出期限とする。
なお、近日中には、関係機関に照会文書を発出したい。

これに対し、概ね次のような意見、要望等があった。

- 継続事業 3 年目となる「山形美術館を活用した学生の学習支援事業」についてはどのような方法で学生に周知しているのかわからないが、費用対効果の点からも、もっと多くの学生に足を運んでもらう工夫が必要ではないか。

(齋藤理事)

- ◎ 美術館の「学生メンバーズカード」として学生には学生向け公式ツイッター等を使って周知している。基盤教育などを担当する教員の協力も欠かせない。入場料が無料である特典をいろんな媒体を使って更なる周知を図りながら、利用者の拡大に努めたい。(事務局)

- 継続事業 4 年目となる「首都圏就職活動時のセカンドキャンパスの整備」事業については山形大学の東京サテライトも存在するが、どのような違いやメリットがあるのか。(山川理事)

- ◎ 本事業にある“セカンドキャンパス”は J R 新宿駅と 5 分程度のところにあり、東京サテライトと比べかなり幅広い使い方が可能である。首都圏での就職を考えている学生にとってはとても利便性が高いものとなっている。本件についても就職課を通じて、利用者の更なる拡大に努めたい。(事務局)

種々審議の結果、議長から本件について諮られた結果、原案どおり了承された。

～ 平成 30 年度の継続事業としての優位性を認める 21 事業 ～

(修学・グローバル化支援関係)

- 1 実践教育プログラム英語合宿 (5 年目)
- 2 校友会推薦図書コーナー「後輩には是非、こんな本を読ませたい！」(5 年目)
- 3 新興国学生大使派遣プログラム (4 年目)
- 4 山形美術館を活用した学生の学習支援事業 (3 年目)

(課外活動支援関係)

- 1 山形大学雪合戦大会支援 (5 年目)
- 2 科学で東北盛り上げ隊 (4 年目)
- 3 子どものまち・いしのまき復興支援事業 (3 年目)
- 4 ビーチサッカー大会 in 庄内 (2 年目)

(就職やキャリア支援関係)

- 1 学生中心に行う優良企業訪問への支援 (4 年目)
- 2 首都圏就職活動時のセカンドキャンパスの整備 (4 年目)
- 3 本学 OB・OG から学ぶ業界・仕事研究セミナー (3 年目)
- 4 首都圏及び大学主催合同企業説明会参加比較支援事業 (2 年目)
(首都圏開催合同企業説明会への参加と東京サテライト案内)
- 5 障がい学生に特化したキャリア支援 (2 年目)

(保護者、本学運営等関係)

- 1 山大生による山形大学のための情報発信プロジェクト (2 年目)
- 2 オペラの教育機能を活用した《附属校との協働》及び《高大連携事業》の推進 (2 年目)

(各機関の協力を得て校友会が主体的に取り組む事業関係)

- 1 山形大学校友会大学院学生表彰制度 (5 年目)
- 2 卒業生の「人財バンク登録事業」を活用した学生支援事業 (4 年目)
- 3 校友会会員となった新入生への入会記念品の贈呈 (4 年目)
- 4 若手卒業生の組織化支援 (4 年目)
- 5 卒業生と大学・学生との連携推進事業 (卒業生等による学生支援体制の整備) (2 年目)
- 6 校友会「学生幹事」による校友会 P R と自主的な活動支援 (2 年目)

～優位性を認める21事業以外の6事業の取り扱い～

○平成29年度をもって継続事業期間が終了したもの

- 1 大学間交流協定大学への短期派遣留学生校友会支援事業（5年間継続）
- 2 各キャンパス大学祭への支援（5年間継続）
- 3 公認サークルへの支援（5年間継続）
- 4 博士課程学生研究発表奨励事業（5年間継続）
- 5 山形大学卒業生講演会（5年間継続）

○平成30年度への継続事業を希望しなかったもの

- 1 農学部創立70周年記念式典における卒業生によるリレー講演（平成29年度で実施済）

3 平成29年度大学院学生表彰者（校友会会長賞）決定について

議長から本件について報告願いたい旨発言があり、事務局から、大学院学生表彰（校友会会長賞）の決定について、資料3-1、資料3-2及び資料3-3に基づき概ね次のような説明があり、了承された。

（内容）

- (1) 「大学院学生表彰に関する申し合わせ（資料3-3）」に基づき、校友会会長賞の被表彰者は専門委員会において決定することとなっている。
なお、本制度の運用に関し、前回の理事会での検討事項や議事録について参考資料を添付している。
- (2) 今年度推薦のあった大学院学生13名は全員が表彰基準のいずれかに該当すると判断され、専門委員会は13名全員を被表彰者に決定した。
- (3) 表彰者には、「山形大学校友会会長賞」として表彰状（資料3-2）と奨励記念品（金5万円）を贈呈する。
- (4) 表彰式は、理事会終了後に同じ会場で執り行う。
- (5) なお、今回も文化系研究科からの推薦がなかったのは残念なことであり、次年度以降はより意欲的に取り組んでもらいたい旨、専門委員会から要望意見があった。

4 その他

議長から、その他として次の3項目について報告したい旨発言があり、順次、事務局から説明があった。

(1) 平成29年度校友会学生幹事の活動状況報告及び平成30年度学生幹事の推薦依頼について

本件について事務局から概ね次のような説明があった。

- ① 本年度から導入された「校友会学生幹事」の1年間の活動報告については、資料4-1のとおりである。
- ② これまで「校友会学生幹事ミーティング」を計6回開催し、さまざまな意見や要望が出され、校友会の諸活動について理解してもらう絶好の機会となった。
- ③ 校友会学生幹事による主な活動としては、次の3つが上げられる。
ア ツイッター活用による校友会の情報発信
イ ツイッターフォロワー数拡大のための「新年あけましてプレゼント企画」
ウ 「山大生の活動支援プロジェクト！」事業
（募集・決定・活動成果報告会の実施）

- ④ 平成 30 年度校友会学生幹事の推薦は資料 4-2 のとおりであるが、近いうちに各学部長に依頼文書を発出したい。

説明の後、概ね次のような意見交換があった。

- 農学部のような場合、学生幹事には学部に移行しても何らかの形で「同窓会」とも関わりをもってもらいたい。（齋藤理事）
- 学生幹事の任期は原則 1 年となっているが、学部に移行してからも複数年担当して構わないのではないか。（議長）
- ◎ 学生幹事の任期は原則 1 年であるが再任は妨げないとしている。なお、医学部、工学部及び農学部のようにキャンパスが離れているケースもあるが、本年度の反省点も踏まえ工夫しながら取り組んでいきたい。（事務局）

(2) 山形大学校友会等の「英文名」について

本件について事務局から概ね次のような説明があった。

- ① 昨年、校友会会長賞を受賞した学生から履歴書記載に使用するため、校友会会長賞等の英文名を教えてくださいとの依頼を受けた。
- ② 事務的に検討の上、とりあえず「山形大学校友会会長賞」等の英文表記名は資料 5 のとおりとし、前回の専門委員会に示していたものである。
- ③ 本件は本日の校友会理事会において最終的な確認を得ることとしていたが、その後、グローバルな視点からの検討も必要ではないかとの意見が寄せられていた。
- ④ ついては、いろいろな角度から検討することとし、引き続き、理事の皆さんからも意見等もいただくこととし、本件は一旦保留としたい。

(3) 「平成 29 年度（第 13 回）山形大学 OB & OG セミナー」の開催について

本件について事務局から概ね次のような説明があった。

- ① 本件は、来る 3 月 3 日（土）に資料 6 のとおり開催する。
- ② 今年も、「山形大学東京サテライト」から近い「田町グランパーク」において実施することとした。
- ③ 今回のセミナーでは、農学部担当の江頭宏昌教授と地域教育文化学部担当の松本大理准教授に講演をお願いしている。
- ④ 今年度は、山大教員による講演に加え、「現役山大生の活動報告」として、大学院理工学研究科 2 年の土屋みなみさんと地域教育文化学部 3 年高橋秀平さん（学生花笠サークル「四面楚歌」代表）の発表をお願いした。

(4) その他

特になし。

配付資料一覧

- 校友会理事会 席次
- 校友会理事・監事一覧（H30.2.16 現在）
- 校友会理事会（第 23 回）次第

[資料一覧]

- 資料1-1 平成29年度校友会支援事業の進捗状況一覧
- 資料1-2 平成29年度事業実施報告書又は事業進捗状況報告書
- 資料1-3 平成29年度収支決算見込み
- 資料2-1 平成30年度予算概要（イメージ）
- 資料2-2 平成30年度校友会支事業の検討に当たっての基本方針
（平成30年度継続事業として優位性を認める事業名一覧ほか）
- 資料2-3 平成30年度校友会事業計画書の申請様式
- 資料3-1 平成29年度大学院学生表彰（校友会長賞）決定者一覧
- 資料3-2 表彰状の様式（山形大学校友会長賞）
- 資料3-3 校友会大学院学生表彰に関する申し合わせ
（関連する参考資料を含む。）
- 資料4-1 平成29年度校友会学生幹事の活動報告
- 資料4-2 平成30年度校友会学生幹事の推薦依頼文書
- 資料5 山形大学校友会等の「英文名」資料
- 資料6 「平成29年度山形大学OB&OGセミナー」の開催案内

[参考資料]

- 1 山形大学校友会会則
- 2 山形大学校友会専門委員会規程
- 3 校友会理事会第22回（H29.6.27）議事録
- 4 校友会専門委員会第25回（H30.1.22）議事録
- 5 校友会の平成29年度における主な活動状況（報告）
 - ※ 校友会会報 No.10〈2017年9月発行〉
 - ※ 「山形大学基金」案内 一山形大学基金に「大学公認学生サークル支援」を新設一